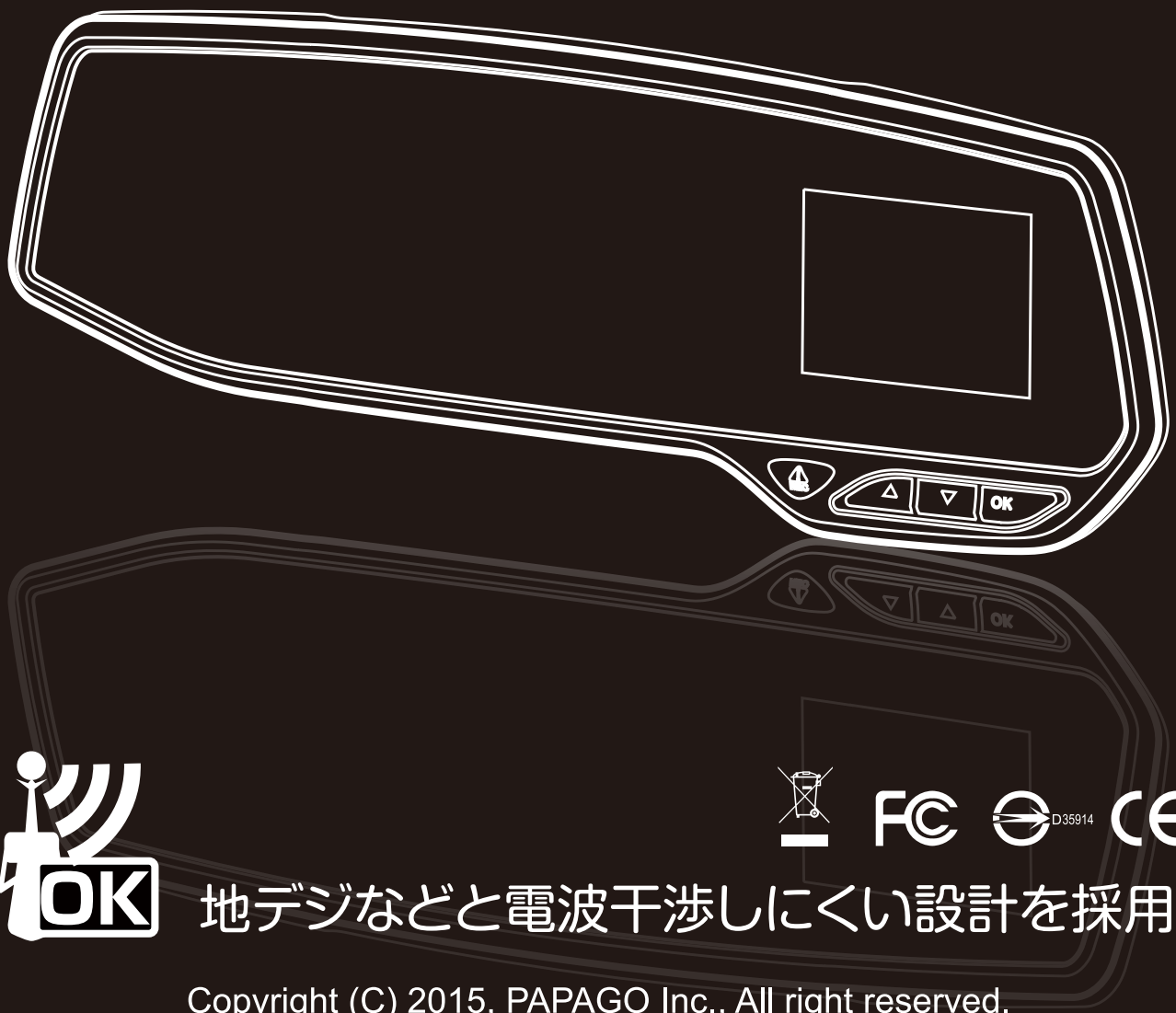
PAPAGO!®
Driving Partner with you!

取扱説明書
User Guide

GoSafe 372

ルームミラー型 高画質FULLHDドライブレコーダー

DC12V～24V対応



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

Copyright (C) 2015, PAPAGO Inc., All right reserved.

PAPAGO! GoSafe372

この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございました。

目次

安全及び注意事項.....3~7

1.はじめに.....7~8

2.取り付け／取り外し.....9~10

3.使い方.....11~13

4.録画／再生／削除.....14~16

5.設定メニュー.....16~24

6.GoLife(PCソフトウェア).....25

7.ドライブレコーダー
専用オプション部品早見表.....26

8.お役立ち情報.....27~28

9.その他.....29~31

10.修理依頼時の注意事項について.....31

この度は、PAPAGO!製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ドライブレコーダーのご使用にあたり下記の作業をお薦めいたしております。SDHCメモリカードやmicroSDメモリカードを定期的にフォーマット作業を行うこと、お願いいたします。詳しい操作方法は製品の「取扱説明書」にてご参照ください。

ドライブレコーダーに使用されるメモリーカードは車から供給される電圧電流が不安定と言われ、また、常にデータアクセスするため、一定の使用時間が経つとメモリーカード内部の構造が多少変わります。その原因で、本体が繰り返し再起動する可能性が高くなります。この場合にはドライブレコーダーの不良もしくは不具合が発生されていることではありません。

定期的にご使用のメモリーカードをフォーマットすることにより、メモリーカードを再構築でき、より安定したデータを記録出来ます。

注）
メモリーカードをフォーマットされる前に必ずパソコンなどに必要ファイルをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマットを行うと全てデータが消去されます。　ご注意下さい。

又、何か不明な点などございましたらお問い合わせください。
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

GS372ご使用前の注意事項

1、他社製のシガープラグケーブルをご使用頂く際、電圧不安定で本体起動出来なかったり、録画途中で画面が中断したり、録画データがうまく取れなかったりする恐れがありますので必ず本製品に付属しているシガープラグケーブルでご使用下さい。

2、市販されているシガーソケット分配器は製品の品質によって、本製品と併用される際、電圧不安定で本体起動出来なかったり、録画途中で画面が中断したり、録画データがうまく取れなかったりする恐れがありますのでご使用しないでください。

3、本製品付属品もしくは同梱品以外での製品を合わせて併用される際、本製品に損傷や損害･破壊･爆発などを与える恐れがあります。その際に、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害など弊社はすべて責任を負いかねますので、予めご了承ください。

4、本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

5、本製品の初期不良交換期間はご購入日から起算して2週間以内となります。

6、本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間となります。
万が一故障した場合は販売店か当社サポート窓口に本保証書を添えてお申し出ください。また、修理依頼品をお送りいただく際の送料は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。

7、運送中の破損や紛失などについて、弊社は責任を負いかねます。
運送中の衝撃などに耐えれるよう、ご注意の上、梱包してください。

安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用の前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

●下記の表示は 誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

●お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

禁止事項 （やってはいけない内容です）	指示事項 （実行・遵守いただきたい内容です）

⚠ 注 意

禁止	**運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。** 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。 **コードを噛み込ませたり、引っ張ったり傷つけたりしない。** ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。	指示	**安定した場所に設置・固定してください。** 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。 取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。
指示	**規定容量のヒューズを使用してください。** 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。	禁止	**ケーブルを引っ張らないでください。** シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
指示	**音量にご注意ください。** 電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	禁止	**停車中に長時間使用しないでください。** エンジンを停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

⚠ 警 告

禁止	**規定電圧以外で使用しないでください。** 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電源・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。	指示	**車を離れる時は電源を切ってください。** 車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があります。 ご使用にならない時はシガープラグを抜いてください。
水かけ禁止	**水をかけたり、濡らさないでください。** 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。	禁止	**高温にご注意ください。** 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。 発火・故障・変形等の原因になります。
禁止	**運転の妨げになる場所に設置しない。** 視界を妨げたり運転操作に支障のでる場所には設置しないでください。 視界不全、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。		

 指示	**エアバックにご注意ください。** エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。
 異常のときはシガープラグを抜く。	**故障・異常の際はすぐに点検を！** 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。
 禁止	**分解・改造しないでください。** 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。

 指示	**シガープラグを定期的に点検してください。** シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不全や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 禁止	**運転中は操作しないでください。** 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。 必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を充分に確認してから操作を行ってください。

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化･消失など）に関して当社は一切の責任を負いかねます。
万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

●本機はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
●万が一、映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合、また映像内容の詳細が判別できないことによる損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
●本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
●本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。
●昼間に日差しや夜間にライト･ナビの画面など反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
●LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
※電源オン時MicroSDHCカードの抜き差しを行わないでください。
MicroSDHCカード破損の原因となります。必ず、電源オフ後LEDが消灯･画面表示がないことを確認し、MicroSDHCカードの抜き差しを行ってください。
※万が一、事故発生もしくはアクセンド時、必ずMicroSDHCカードを抜いて保管ください。記録された録画データが上書きされないよう対応となります。

本製品取付、配線時注意事項：

- 本製品及び接続ケーブルを車内に配線頂く前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。
- ケーブル類を配線するときは、車両側部品との噛みこみに注意し、突起物に当たらないようにしてください。
  ※本製品の破損や漏電、事故・火災・感電等の原因となります。
- 取付完了後は、ブレーキ・ライト・ホーン・ウィンカー等すべての電装品が正常に動作することを確認ください。
  車内配線に未経験の方は、必ず整備工場や専門業者に相談の上、取付けを行ってください。
- 万一上記問題がございましても当社と致しましては、一切責任は負いかねますのでご注意ください。

●LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

●本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

使用注意事項

1.使用法

1.エンジンを停止してもシガーライターに給電されている車両の場合、
車両バッテリーの放電防止の為、未使用時にはシガープラグを必ず抜いてください。
2.エンジン停止後やアクシデントにより電源が切断された際などに一定時間録画
状態を保てるように本体内にバックアップ電源を搭載しています。
また、本体の電源OFF直後もシステムおよびファイル保護の為、電源は即座には
切れません。
3.本体電源OFF直後は前述のようにファイル保護の為、シャットダウン処理中の
場合があります。完全に電源が切れるまでMicroSDHCカードを抜かないでください。
MicroSDHCカード内のファイル破損MicroSDHC　カード自体の破損等につながる可
能性があります。

2.使用するMicroSDHCカードについて

1.容量8GB以上、速度Class10 以上の MicroSDHCカードをご使用ください。
2.使用前にMicroSDHC カードをフォーマットしてください。
3.使用するMicroSDHC カード容量によって記録可能な時間が異なります。

※MicroSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。約1年を目安に交換することをお勧めいたします。
※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

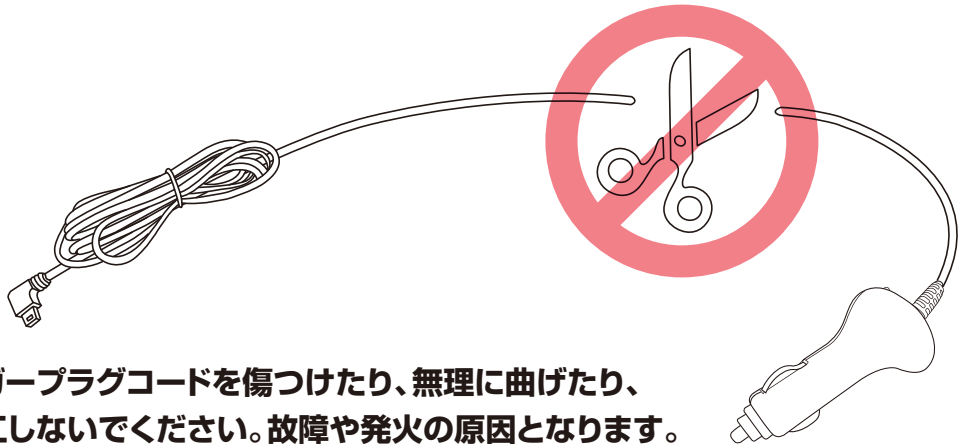
参考記録時間

MicroSDHCカード容量	FullHD1080p /30fps時 参考記録時間	HD 720p　/30fps時 参考記録時間
8GB	1 時間30分	2時間30分
16GB	3 時間	5 時間
32GB	6 時間	10 時間

※上記値は参考値（目安）で、絶対保証するものではありません。
※ご使用される周囲環境やメモリーカードの容量などの要因で記録可能な時間や件数が異なります。

3. 電源ケーブルについて

GS372は、専用の電源ケーブル以外を使用すると正常に動作しない場合があります。必ずパッケージに付属の12/24Vシガープラグケーブルを使用し、本体側面にあるUSB充電対応端子に接続してください。



シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、
加工しないでください。故障や発火の原因となります。

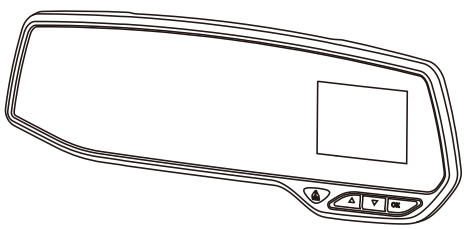
※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障や壊れる・エンジン故障や事故の原因になります。詳しくない方は、必ず、車改造の業者や専門店の方とご相談ください。

1.はじめに

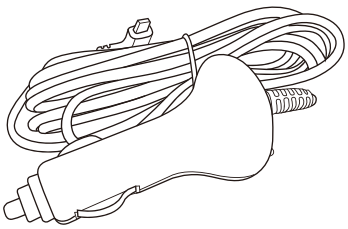
1.1 パッケージ内容

ご使用前にパッケージ内容がそろっているか最初にご確認ください。

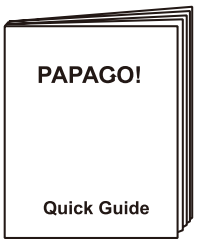
❶本体



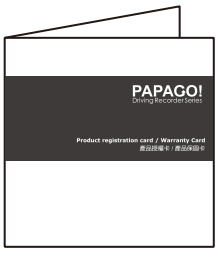
❷12/24V シガープラグ



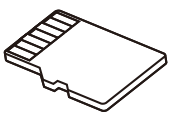
❸日本語取扱説明書



❹国内保証書

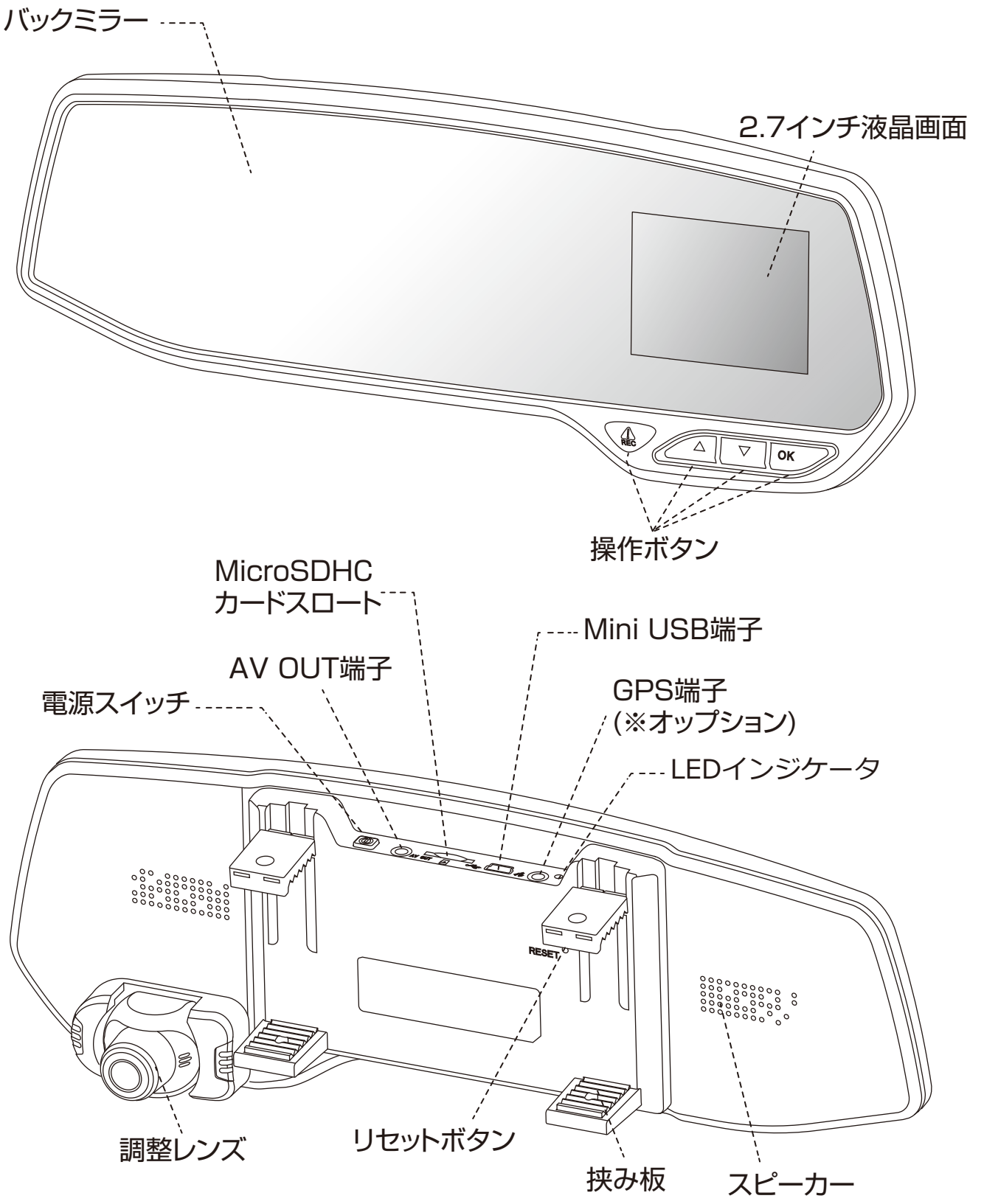


❺8GB CLASS10
MicroSDHC
x1枚



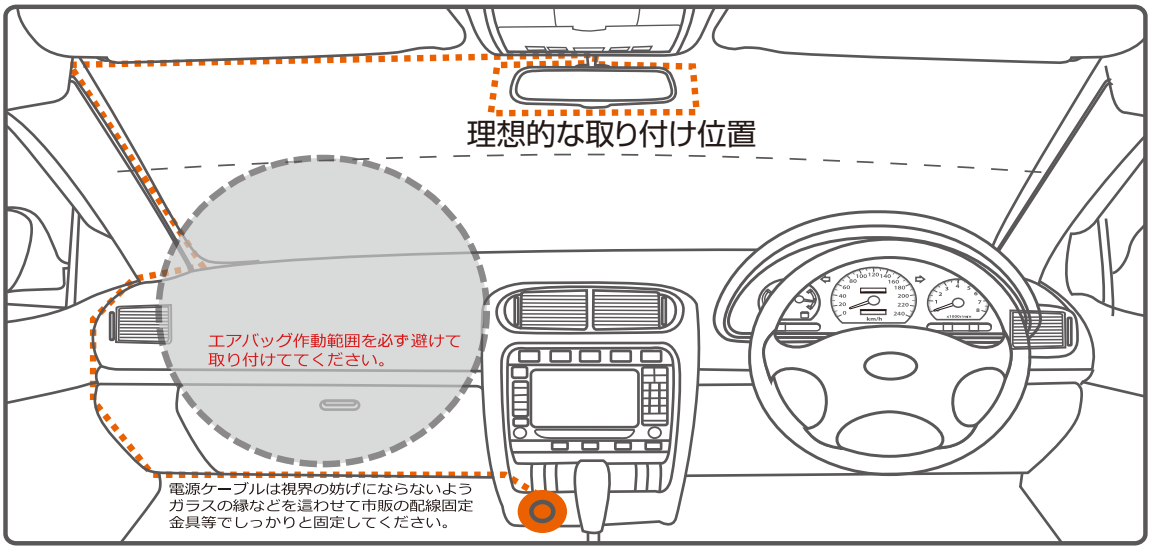
⚠ 弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。

1.2本体の各部説明


バックミラー
2.7インチ液晶画面
REC
OK
操作ボタン
MicroSDHC
カードスロート
Mini USB端子
AV OUT端子
電源スイッチ
GPS端子
(※オップション)
LEDインジケータ
RESET
調整レンズ
リセットボタン
挟み板
スピーカー

2.取り付け/取外し

2.1 取り付け位置の確認

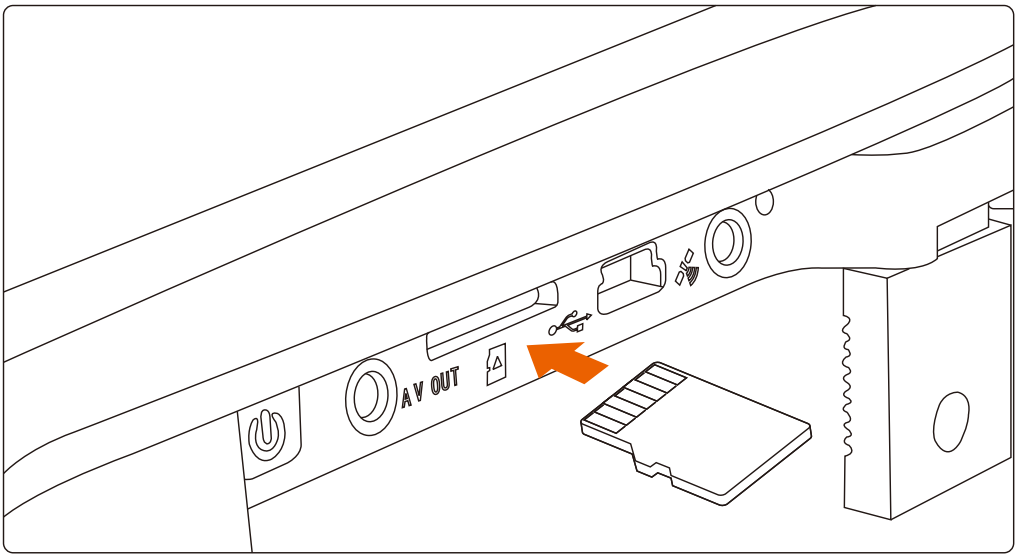


1.フロントガラスの上下幅の上側20%の範囲内に取り付けてください。
ご使用になる車種によって実際に取付け場所が多少ずれることがありますので、特に視界を妨げなく録画記録が出来る位置でも問題はありません。
2.降雨時に鮮明に記録可能なよう、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
3.フロントガラス縁の着色部やアンテナ・熱線などのワイヤー埋め込み部を避け、視界の妨げにならない場所を選択して取り付けてください。
4.エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けてください。

> **エアバッグ作動範囲にご注意ください**
> エアバッグ作動範囲内に取り付けた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバック動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

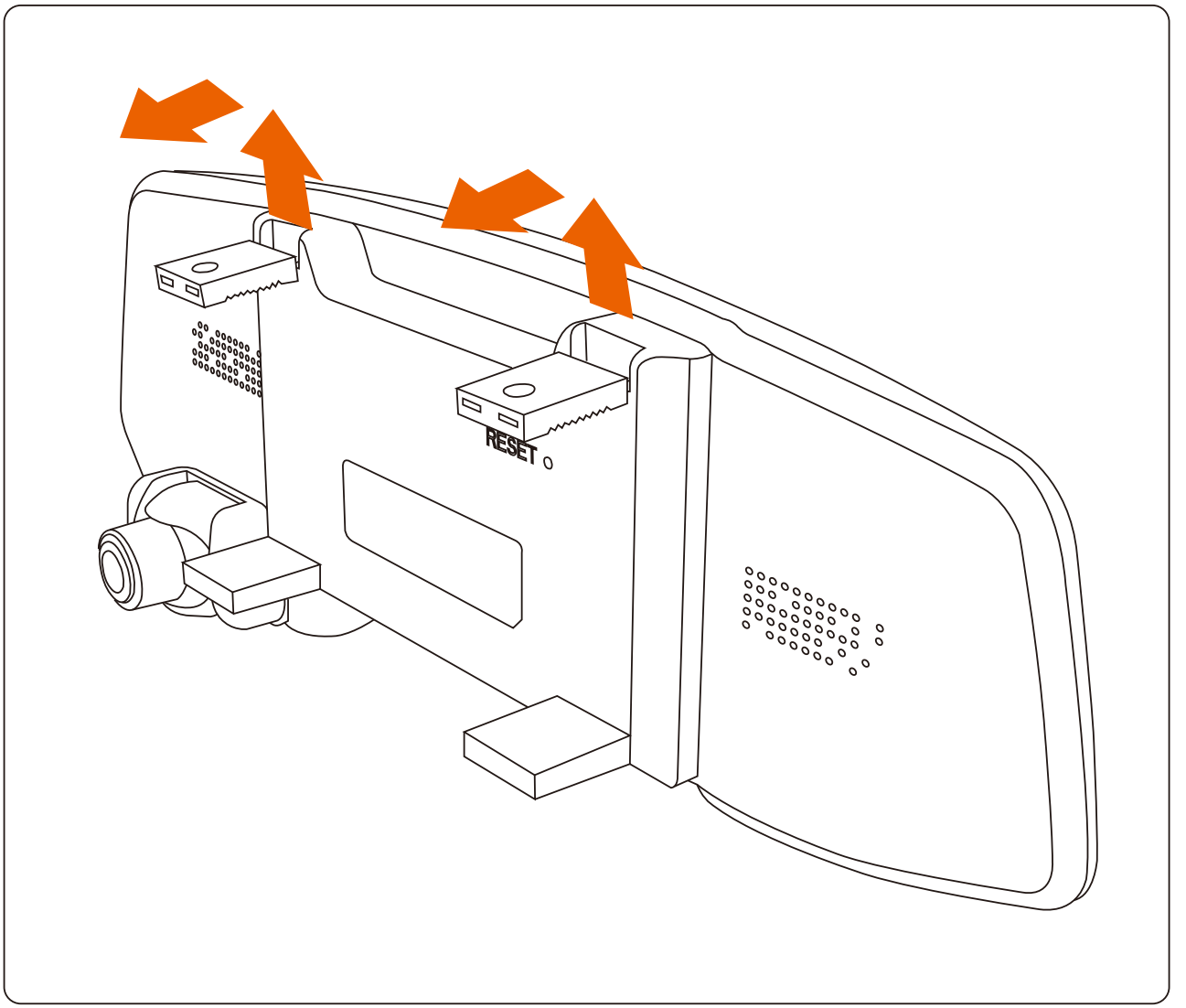
2.2MicroSD カードの取り付け

MicroSD カードの金属面を上にし、本体のMicroSD カードスロットに挿入します。



2.3取り付け説明

① 本体背面上方の二本の挟み板を上に引き伸ばし、固定範囲を広げます。
② 本体をバックミラー近くのガラス面の適切な位置に置き、挟み板をバックミラーの上下両側に合わせ、本体をバックミラーに固定します。
③ 本体の角度を調整し、ディスプレイが最適な位置に表示されるようにします。
④ シガープラグを本体のMini USB端子と車のシガーソケットに接続します。
⑤角度がずれた場合はGS372本体を動かし、または調整レンズを上下左右で適切な撮影角度の調整を行ってください。



3.使い方

本製品はお客様がご満足且つ快適にご使用頂けるため、万全な設計と高品質管理で作られてきた製品です。
ただ、天候状況や明るさなどにより、録画された映像がはっきりしないもしくは映像保存エラーが発生し、一部製品の安全機能うまく稼働出来ない場合もございますので、予めご了承ください。例え、

※急激に明るさが変わる場合
※日光の影と陽射しの逆光が強い場合
※車走行中の揺らぎ･振動など
※悪天候（大雨、雪、強風、濃霧、夜間など）
※夜の光源が全くない極端な場合など

3.1 起動～録画開始

（1）MicroSDHCカードをスロットにしっかり差し込みます。
（2）電源コードがシガープラグに差し込まれている事を確認します。
（3）電源コード先端のmini USB端子を本体USBコネクタに差し込みます。
（4）電源スイッチを押してパワーONします。

3.2 ドライブレコーダーの初期設定

お買い上げ後に初めて本製品の電源を入れたときは、
言語や地域、時刻の設定を行ってください。

また、安心してご使用頂くためのご注意!
本製品で安心して映像を記録するために使用前にメモリーカードのフォーマット（初期化）を実行してください。
フォーマットの方法はドライブレコーダー本体の設定でフォーマットを選択し実行してください。
初回設定後もお安心してご使用頂くために、定期的にメモリーカードのフォーマット（月1回）を推奨しています。

より安全及び録画画質
品質を保証するため
にメモリーカード
を初期化してください

※必要なデータがある場合、パソコンなどにバックアップしてからフォーマットを行って下さい。
※パソコンでは保存形式が異なるためフォーマットを行わないでください。

本製品の設定方法について**「5.12 フォーマット」**をご確認ください。

3.3 電源OFF~録画終了

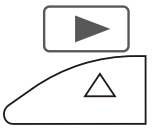
（1）電源スイッチを5秒以上押せば、パワーOFFします。電源ボタンを3秒以上長く押すと、再度パワーONします。
（2）MicroSDHCカードの取り外しは、完全に電源が切れた事を確認してから行ってください。

まもなく
本体電源オフ

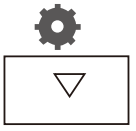
3.4 各ボタンの機能

録画モード中

手動緊急録画ボタン



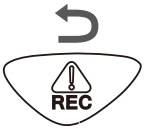
録画ファイル再生



設定メニュー、
ボタンを長押しと画面撮影（静止画）

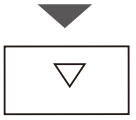
録画画面をオン／オフ、
ボタンを長押しとマイクオン／オフ

録画ファイル再生時



録画モードに戻る

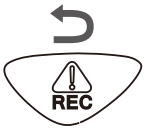
上へ



下へ

画像／録画データの選択

通常ビデオ／緊急ビデオ／写真ファイル



前へ戻る／長押しと録画モードへ戻る

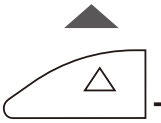
削除

ロック

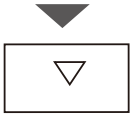
再生／一時停止／プレビュー

設定モード時

戻る



上へ



下へ

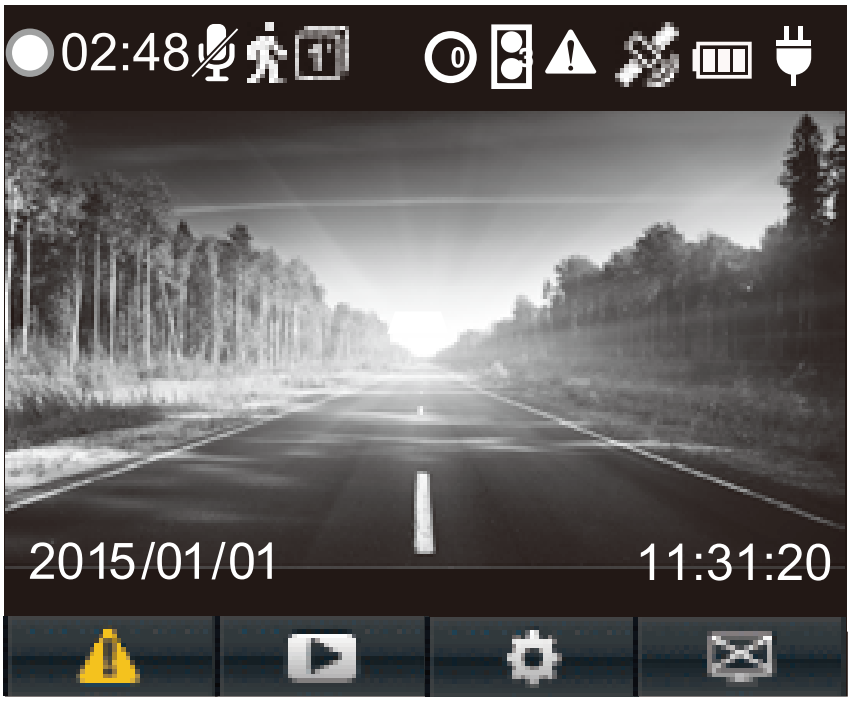
確認

3.5 LEDインジケータ

※実際の点滅の模様が見にくい場合があります。

LEDカラー	状態	意味
赤	常時点灯	充電中
	点灯しない	充電完成
緑	常時点灯	録画中
	点灯しない	待機中･設定中･シャットダウン

3.6 スクリーン表示内容



●02:48 ：録画中

：動体検知機能作動中

：速度制限標識警告

：緊急録画状態

2014/07/15 11:31:20：現在の日時

：音声記録ON/OFF

：動体検知機能作動中
（タイムラプス）

：出発遅延警告

：GPS受信状態
(オプション機能)

：内蔵電池使用時

：電源コード使用時

4.録画／再生／削除

4.1 サイクル録画（繰り返し上書き録画）機能

1.電源が投入されると挿入されしているMicroSDHCカードに自動的に録画を開始します。
2.継続して5分ごとにファイルを作成して録画を続け、MicroSDHCカードの容量が足りなくなる場合に、自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続します。

4.2 緊急録画

1.手動バックアップ（手動録画）
録画中に、

ボタンを押すことにより、リアルタイムに撮った映像を保護スペースに保存されます。
2.自動バックアップ（衝突感知自動保存）
衝突などにより衝撃を感知した際に自動的に前後の記録を保護スペースに移動させて上書きによる消去を防止します。
3.保護スペースに保存出来る容量は実際にご使用頂くメモリーカードの容量より約30%を設定しております。それを超えると録画ファイルの保存が出来なくなります。一番最初のファイルから上書します。常に録画ファイル数を確認して他の場所（パソコンなど）に保存してから削除ください。

⚠ “設定-衝撃感度設定”でセンサーの感度を設定できます。

4.3 スナップショット

1.録画中に、

ボタンを押すことにより、スナップショットができます。

4.4 ビデオ再生／削除

1.録画モードに、

ボタンを押して、録画ファイル再生を表示します。
2.再生するファイルを選択します。
（通常ビデオ／緊急ビデオ／写真ファイル）
3.ファイルを選択し、

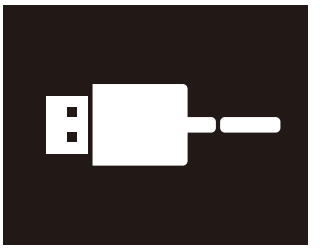
ボタンを押して、再生します。
4.

ボタンを押して削除する録画ファイル/写真を選択できます。

⚠ “アイコン“ ”は録画ファイル/写真をすでにロックし保護されていることを表します。すでにロックし保護されている録画ファイル/写真は削除できません。ロックを解除し再度操作してください。
（保護されているファイル、メモリーカードの容量によって上書される可能性があります。常に録画ファイル数を確認して他の場所（パソコンなど）に保存してください。）

4.5 USBリンクによるファイルの読み取り

1.USBケーブルを用いて、本体とパソコンにリンクさせ、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
2.リムーバブルディスクを開けて、“PAPAGO”フォルダに入ります。
3.必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。



EMERGENCY:緊急録画ファイル
PHOTOS:写真ファイル
VIDEOS:一般録画

4.6 MicroSDカードからファイルの読み取り

1.本体の電源をパワーOFF以後、MicroSDカードを取り出します。
2.MicroSDカードをパソコン側にカードリーダーに挿し込んで、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
3.リムーバブルディスクを開けて、必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。

4.7 AV OUT出力

① AV出力ケーブル(※別途ご購入)で本機と出力設備をつなぎます。
② 出力設備の入力信号ソースをAVに設定します。
③ 出力設備のディスプレイを本機のディスプレイに替え、画面を表示します。
④ 映像および写真の録画、再生、削除ができます。
※別途ご購入:　AVケーブル 3ピン-1(4極)ミニプラグ

4.8 ファームウエアのアップデート

※本作業を行う前に、必ずメモリーカードに入っているすべてのデータのバックアップを取ってください。万が一、本作業を行う際に、本来メモリーカードに入っているデータが消える恐れもあり得ますので、弊社はその責任を一切負えませんので、予めご了承ください。

① PAPAGO JAPANホームページ:www.papago.co.jpをアクセスください。
② “製品サポート/ファームウェア ダウンロード”に入ります。
③ GoSafe 372最新ファームウエアファイルをダウンロードしMicroSDカードのルートディレクトリに解凍します。
④ コピーを終えたらMicroSDカードを本機のMicroSDカードスロットに挿します。
⑤ 本機の電源を入れます。
⑥ LED 指示ランプが点滅し、アップデートを始めます。
⑦ アップデートが完了したら、本機は自動的に再起動します。
⑧「言語」→「時間」などの設定を終了後、再度「設定」→「デフォルト設定」→「すべての設定をクリアし初期化再起動」→「確認」を行ってください。
⑨“設定-バージョン情報”で最新バージョンかどうかを確認できます。

MicroSDカードを使用しファームウエアをアップデートする際は、
MicroSDカードの読み書きの安定性を保証するため、必ず本機で
MicroSDカードの初期化をおこなってください。
起動できなくなるなどの状況を避けるため、システムのアップデート中は、
電源を切らないでください。

5.設定メニュー

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、
予告なしに変更または修正される場合があります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、お客様ご自身が弊社
ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

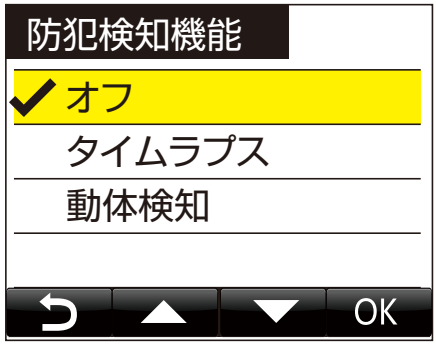
※本設定メニューに「✔」の表示
は本製品の初期設定です。

録画モードで“ ▽ ”キーを
押すと、設定モードに入ります。

※クレー色枠（本印刷物）/黄色枠（本体操作時）の設定は工場出荷時の初期
設定となっております。また、場合によっては製造ロットにより、お手元の
製品の設定はマニュアル表示と異なる場合がございますので、その場合
にはお手数ですが、再度設定をご確認ください。

5.1 防犯検知機能

防犯検知機能をオフ、タイムラプス、
動体検知に設定します。



※「動体検知機能」や「タイムラプス」は車が停車中の防犯監視機能として
設計されています。必ず、通常録画中もしくは車走行中には「動体検知機能」
や「タイムラプス」をオンしないでください。

PAPAGO！防犯監視機能対応
動体検知監視機能・イタズラや当て逃げ等の対策
設定方法

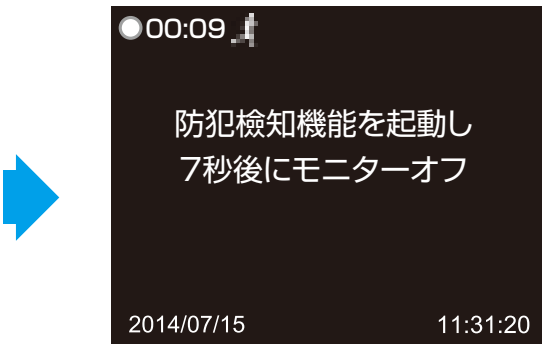
動体検知機能を「オン」に設定し、カメラ上の映像に約1分間変化がないと待機モードに入り、待機モード中、車の前方に人・車が通るか動体が検知された時に、約1分間前後の自動録画開始し、また1分間経過後、特に変化がないと再度待機モードに入ります。(※動体検知録画中に設定方法により、録画モニターの表示をオン／オフすることは出来ます。)

通常は、定期的にメモリカードに入っている録画データをご確認頂ければ良いですが、もしも、何かご自分の愛車や周りの状況に違和感を感じる場合、直ちにその録画データをご確認の上、車の点検を行ってください。
PAPAGO! 防犯検知機能対応ドラレコ は、万が一の事故の時はもちろん、いたずら対策に役立ったり、時には事件解決の決め手となったり様々な用途で活躍出来ます。

(1)「設定」→「防犯検知機能」→「オフ」(初期設定)→「動体検知」→「OK」を押すと設定完了。

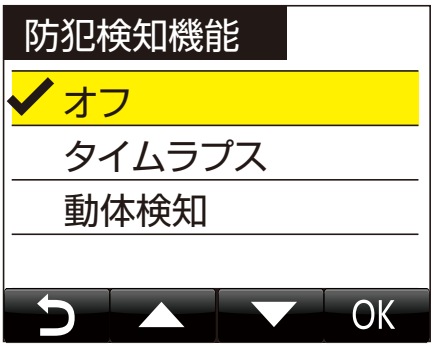
(2)カメラ上の映像に約1分間変化がないと「待機モード」に入り(実際の画面右上部の録画時間が00:00と表示、LCD:オン→オフ)→待機モード中、車の前方に人・車が通るか動体が検知された時に「動体検知機能」が作動し録画開始(実際画面の右上部の録画時間が例えば00:12に変化され、LCD:オフ)→また約1分間経過後、特に変化がないと再度待機モードに入ります。→(実際画面の右上部の録画時間が00:00と表示されます。)

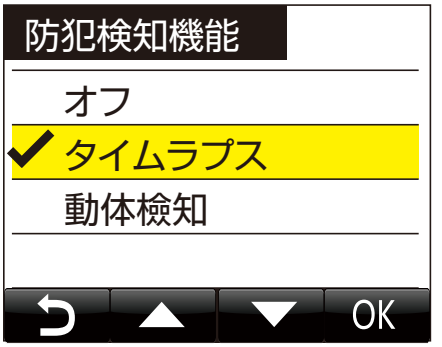
もし、上記「動体検知機能」作動録画中に（1分間以内）新たな動体が検知された場合、その検知された時点から再度1分間のカウントで自動録画を続け、その動体が探知されないまで、循環録画を行います。ひとつ最大循環録画時間は5分間、もし動体探知録画時間が5分間を超えた場合、その残りの時間を新たに別の録画データを作ります。
また、どれかのボタンを押すと一旦「動体探知」機能が停止し、「ポップアップメッセージ」にてお知らせします。



※※※注意※※※
「動体検知機能」や「タイムラプス」は車が停車中の防犯監視機能として設計されています。本機能が稼働時にモニター画面が非表示（モニターに何も表示されません）され、本体の電源オフもしくは本体が動作していないと勘違いされてしまうため、必ず、通常録画中もしくは車走行中には「動体検知機能」や「タイムラプス」をオンしないでください。

（3）車に戻り、エンジをかけた後、
「OK」「▲」「▼」どれかのボタンを押せば、モニターが表示され、
「動体検知メッセージ」にて知らせます。





タイムラプス

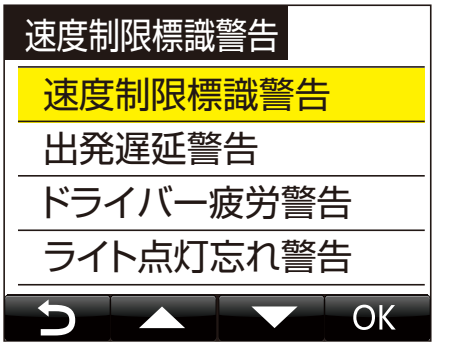
PAPAGO!独自ソフトウエア機能で1秒/1フレーム（1sec/10fp）で録画を行います。駐車中、「タイムラプス」を「オン」に設定した後通常録画画面に戻すと「タイムラプス」形式で録画開始します。あとは、約10秒後にモニターオフし（節電のため、画面が真っ黒になる）、常に「タイムラプス」形式で録画を行います。本来の1秒/30フレーム（1sec/30fp）から1秒/1フレーム（1sec/10fp）の形式を変わることにより、お使いになっているメモリーカードの容量は約30倍の大幅に節約は出来ます。

※合計件数の計算方法は、ひとつの動体検知作業がすべて終了までは1件の計算となります。
略イメージ:動体検知開始→待機中→動体検知作動→録画→待機中

※本機能を常時稼働させるには別途
PAPAGO! 専用スマート常時直結電源
コードもしくは外部常時電源供給装置が必要となります。
※PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード
型番：A-JP-RVC-1
JANコード：4582448450372

※PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コードもしくは外部常時電源供給装置などをご使用される場合、車に戻り、車のエンジをかけた後に、必ず「OK」「▲」「▼」どれかのボタンを押して、モニターに「動体検知メッセージ　合計　xx件」が表示されたら、その録画のデータを確認ください。

5.2 安全走行

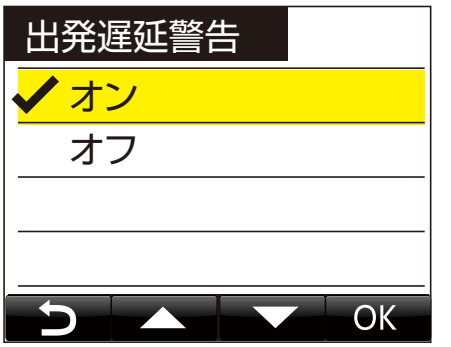


5.2.1 速度制限標識警告

標識警告のON/OFFを設定します。

5.2.2 出発遅延警告

出発遅延警告のON/OFFを設定します。



5.2.3 ドライバー疲労警告

ドライバ疲労警告の作動時間を設定します。
（30分／1時間／2時間／オフ）

5.2.4 ライト点灯忘れ警告

ライト点灯忘れ警告オン/オフを設定します。

5.3 録音

録画中と同時に音声記録するかを設定します。

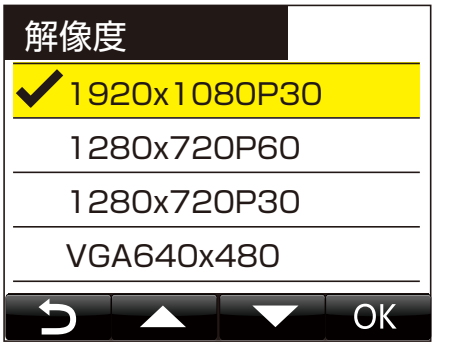
5.4 露出補正

露出補正(EV値)(7段階)を調整し、適切な露出値を調整出来ます。

*EV(露出)値により映像画質が影響されます。

5.5 解像度

録画の解像度を1920x1080P30、1280x720P60、1280x720P30、VGA640x480に設定します。



5.6 衝撃感度設定

Gセンサーの録画トリガー強度を設定します。(低感度/中感度/高感度/オフの4階段)

5.7 日付/時刻

日付と時間を設定します。

5.8 LCDオートオフ

スクリーンタイムアウトの時間を設定します。

5.9 データ付きビデオ

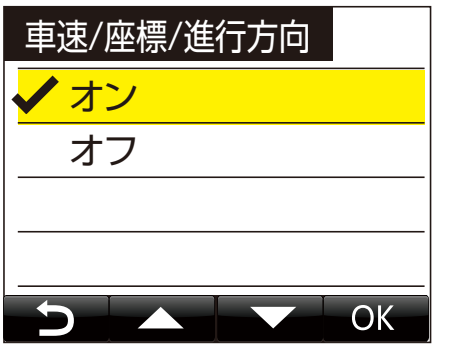
日付/時刻または車速/座標/進行方向(オプション機能)を設定します。

5.9.1 日付/時刻

映像に時間表示オン/オフを設定します。

5.9.2 車速/座標/進行方向

映像に車速/座標/進行方向表示オン/オフを設定します。(オプション機能)



5.10 アンチフリッカー

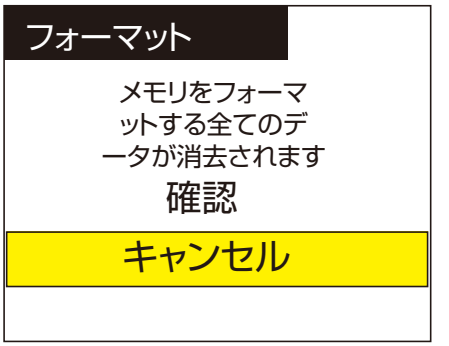
電源周波数を50Hz か 60Hzに設定します。

5.11 システム言語

メニュー言語を設定します。
日本語、英語、中国語（繁／簡）、ロシア語など全10ヶ国語。

5.12 フォーマット

MicroSDHCカードをフォーマットします。
※MicroSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。
約1年を目安に交換することをお勧めいたします。
※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、必ず、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

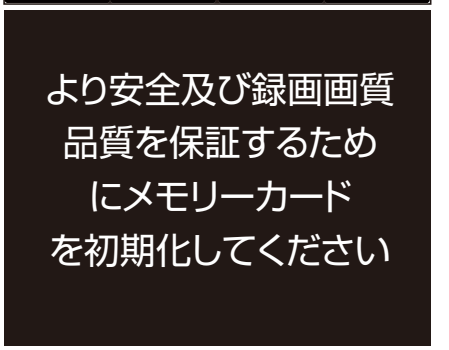


⚠ この操作はMicroSDカードの全てのデータを削除します。
この操作は後に戻せません。映像または写真のバックアップを取ってからこの操作をおこなってください。

5.13 フォーマット通知

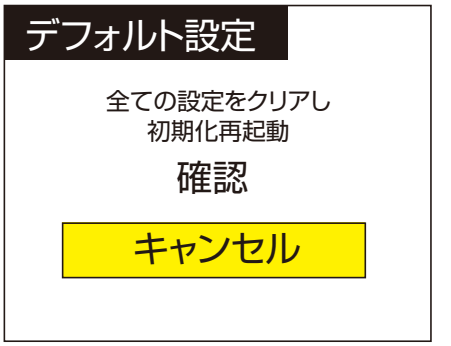
MicroSDカードのフォーマート通知を設定します。

※SDカードを正しく安定してご使用いただくために、SDカードは定期的にフォーマットを行うことをお勧めします。



5.14 デフォルト設定

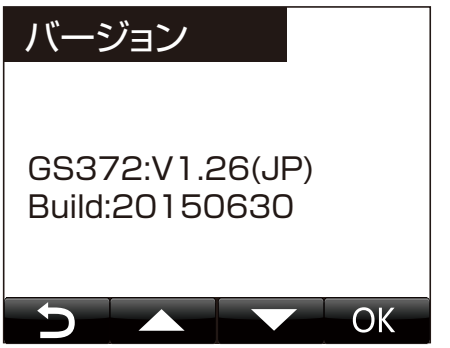
各設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります。
※本設定を行った後、本機械はお客様が一番最初ご購入時と同様な設定環境に戻り、再設定を行ってください。



5.15 バージョン

システムファームウェアのバージョンを表示します。

2015年5月現在のバージョンはV1.26です。



※※※安全安心機能のアラーム音（ビープ音）※※※

安全安心機能が稼働時、本体に内蔵されているブザーより、アラーム音を促してくれる音です。
制限速度標識警告:「･」短音　x 1回
出発遅れ警告:「･」短音　x 1回
ドライバー疲労警告:「･」短音　x 1回
ライト点灯忘れ防止警告:「･」短音　x 1回
※GPS使用時（オプション）制限速度標識警告:「･」短音　x 2回

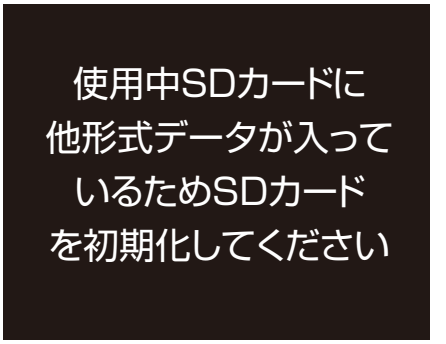
※※※速度超過警告／スピードオーバー※※※

設定メニューの中で下記設定機能を起動する必要があります。

●速度制限標識警告:オン

車の走行速度が道路上の速度制限標識の制限速度以上になる場合、道路上の「速度制限標識」のマークが表す→警告アラームが鳴る→「速度超過警告／スピードオーバー」画面が表して注意を促してくれます。

使用中のメモリーカードに、
他形式のデータが入っているため、
メモリーカードを初期化してください。



6.GoLife（PCソフトウェア）

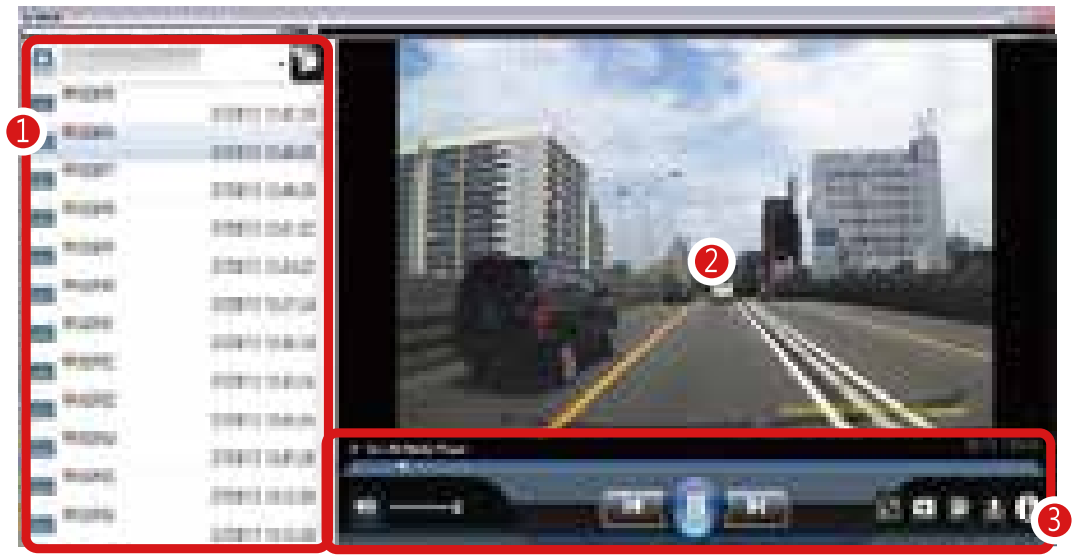
6.1 システム要件

OS	Microsoft Win 8 (32/64) / Win7 (32/64) / VISTA / XP
CPU	Pentium4　2.4GHz以上
メモリ	512MB以上
I/F	SDカードリーダー
推奨ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8

6.2 ソフトウェアのダウンロード

本製品に専用ビュアーソフトは同梱しておりません。
お手数ですが、下記のダウンロード先で弊社のGoLifeソフトウェアをダウンロードください。
http://www.papago.co.jp/golife.html
ダウンロードした圧縮ファイルの解凍して、setup.exeというファイルを実行してGoLifeインストールください。
インストール後、GoLifeのショートカットがデスクトップに作成され、GoLifeを実行できるようになります。

6.3 プレイヤー インターフェイス



1.ビデオ ファイル リスト
2.ビデオ再生
3.機能リスト

7.ドライブレコーダー 専用オプション部品早見表

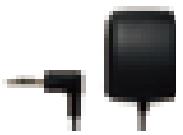
PAPAGO! GS372専用オプション部品

製品	型番	JANコード	製品名
	A-GS-G08	4582448450396	GoSafe 372 専用シガープラグケーブル

PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-1	4582448450372	スマート常時直結電源コード 「対応機種」 GS110、GS115、GS200、GS210、GS220、GS272、GS350、GS360、GS372、GS381、GS520、

PAPAGO! 専用ドライブレコーダー 対応 GPSアンテナ

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-2	4582448450419	ドライブレコーダー 対応 GPSアンテナ 「対応機種」 GS118，GS381,GS372

※一部図形表示や写真等はイメージで、実際のものとは異なる場合がございます。
予めご了承ください。
また、製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。
予めご了承ください。

ドライブレコーダー専用オプション部品のご購入は、こちらのsupport@papago.co.jp までお問い合わせください。

清潔

● レンズの撮影効果に影響を与えないようにするため、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接ディスプレイに触れないでください。
● 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡いただき、ご自身で本機や車用変圧器を解体しないでください。

保存

● 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
● 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
● MicroSDカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はMicroSdカードを取り出してください。

トラブルシューティング

● 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
● 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
● MicroSDカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はMicroSdカードを取り出してください。
● 起動できない
○ 本機に電力が供給されているか、あるいは電力が低すぎないか確認してください。

○ “ RESET ◎ ”キーを押して再起動してください。
● ディスプレイに現在録画している映像が表示されない。
○ 録画モードでディスプレイ表示がオフになっていないか確認してください。“ OK ”キーを押しディスプレイ表示をオンにしてください。
○ ディスプレイにLCDオートオフが設定されていないか確認してください。“設定-LCDオートオフ”でディスプレイの設定を変えることができます。

● SD カードがいっぱいになった
○ 本機より不要な映像/写真を削除します。
○ MicroSDカードをコンピュータに入れ、不要な映像/写真を削除します。
○ MircoSDカードのデータをバックアップした後、初期化します。

すでにロックされている映像や写真は削除できません。ロックを解除してから再操作してください。
削除および初期化は後に戻せません。映像や写真のバックアップを取ってから再操作してください。

● 本機で映像を再生できない
○ MicroSDカード内の映像や写真のファイル名やフォルダ名がコンピュータで変更されていないか確認する。
○ MicroSDカード内の映像や写真がコンピュータによって処理されたか、本機で録画した映像や写真でない。
○ MicroSD がすでに壊れている。

※MicroSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。
約1年を目安に交換することをお勧めいたします。
※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、必ず、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

上記の内容でもまだ解決しない問題については、販売店か当社までご連絡くださいますようお願いいたします。

CE規制について

本説明書に記載されているマーク、商品･サービス名は、各社の商標または登録商標、版権であり、説明する目的として使用するのみです。

WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

WEEE

电池

製品やパッケージに本記号が表示されて場合に、本製品と(或いは)内蔵電池を廃棄する際には、一般の廃棄物とは分別して指定した適切な回収場所にを回収しなければならない。より詳細な情報については、現地の廃棄物管理機関や販売元あるいは廃棄物サービスステーションに尋ねてください。資源回収は人類の健康と環境保護に役に立っている、是非、ご協力をお願いします。

本製品は下記の規制に満たして設計されております。
電磁環境両立性指令　2004/108/EC
低電圧指令　2006/95/EC
電気電子機器における特定有害物質使用制限指令2002/95/EC
EuP指令(エネルギー使用製品)2005/32/EC
ErP指令(エネルギー関連製品)2009/125/EC

注意事項

1.必ずお住まいの自治体の条例に従ってリサイクルへ。
2.自らは電池を交換しないでください。不適切な交換で爆発の恐れがあります。
3.本体を分解しないでください。
4.電池をショートさせないでください。
5.電池を適切な場所に保管してください。
6.電池を直射日光の当る場所、ストーブなどの熱源のそばに、高い温度になる場所に放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。

FCCについて

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。
これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合（装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます）、以下の手段を講じることが推奨されます:

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:
(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。
本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。
これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合（装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます）、以下の手段を講じることが推奨されます:

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:
(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項
PAPAGOが明示的に承認していない機器の変更や修正を行った場合には、ユーザが機器を使用する正当な権利が無効になることがあります。

地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

10.修理依頼時の注意事項について

より正確、より早くスムーズに修理検証が対応できるため、店舗もしくは当社宛てに、製品をご返送頂く場合、大変お手数ですが、必ず、下記同梱品のすべてをご返送ください。
◎ドライブレコーダー本体
◎製品に同梱されている専用シガープラグケーブル（電源コード）
◎製品に同梱されているSDメモリカード
※事前にお客様ご自身でSDメモリカード内のデータをバックアップ取ってください。
当社はそのSDメモリカード内のデータは一切保障出来かねますので、ご了承ください。
また、ご依頼事項内容もご記入頂き、上記製品と一緒に同梱で、店舗もしくは弊社まで送付してください。
（1）
◎本製品の初期不良交換期間はご購入日から起算して2週間以内となります。
◎本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間となります。
万が一故障した場合は販売店か当社サポート窓口に本保証書を添えてお申し出ください。
また、修理依頼品をお送りいただく際の送料は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
（2）
◎運送中の破損や紛失などについて、弊社は責任を負いかねます。
運送中の衝撃などに耐えれるよう、ご注意の上、梱包してください。

※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、
お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡をください。
公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:
http://www.papago.co.jp/rma.html
製品メールサポート担当宛てにご連絡頂く場合:
support@papago.co.jp

市内通話料でOK 携帯OK

一番 パパゴ
0570-001-885
※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間:10:00～12:00　14:00～17:00
月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、
お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

PAPAGO!

Driving Partner with you!

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.1.2 201508

facebook
ページにいいね!をしよう!